

# 令和4年度東御市民病院重点事業の実績

## 1、新型コロナウイルス対策

院内感染を防止するための対策を徹底し、診療を継続する。

### (1) 外来診療体制

オンライン診療を含めた、遺伝子検出検査（PCR・NEAR法）および抗原（定性・定量）検査、感染者の重症度評価を実施する体制の継続

項目	R4年度実績 <R3年度実績>
オンライン診療	オンライン診療：3,060件 <1,026件>
ウイルス検査（遺伝子、抗原）	検査数：8,203件（病院7,572件<2,471件>、診療所631件<57件>）
重症度の振分診察	診察数：86件 <148件>

### (2) 入院治療体制

保健所からの要請に応じ、軽症から中等症患者の入院治療体制の維持

入院患者	延患者数：649人 <467人>
------	------------------

### (3) ワクチン接種事業の推進

ワクチン接種に関する啓発活動、安心、安全な遂行、重度の副反応出現時の対応

啓発番組	5回
集団接種への医師、看護師派	派遣日数：88日 <137日>

### (4) 感染症対応力の向上

新たな変異株の特徴を注視し、職員の知識・技術の蓄積、感染症専門医の協力により、感染症対応力の向上と院内感染の防止策を徹底

院内感染防止対策	対策会議：17回、研修会：2回、巡視：3回、職員検査：
感染症認定看護師の育成	資格取得研修へ派遣：1名（4月～11月）

## 2、プライマリケア

出産・誕生から最期の時を迎えるまでの健康上の問題や患者の疾病に対して、プライマリケア「5つの理念」の視点で、全人的に対応する医療、福祉、保健サービスの提供体制を構築維持する。

### (1) 診療体制

#### ① 診療体制の再構築

外科・整形外科医師の確保による院内体制の充実、近隣医療機関との連携など、地域診療体制の再構築

項目	R4年度実績 <R3年度実績>
医師の雇用	常勤医師2人（整形外科、内科）、任用医師2人（外科、内科）
CT、MRI検査の受託	受託件数：585件 <501件>

#### ② 当院かかりつけ患者の病診連携を含めたフォロー体制のあり方についての検討

連携会議	地域医療部：6回、認知症支援チーム：12回、
患者意識の把握	患者満足度調査：1回

③ 発熱外来、オンライン診療、訪問診療など、患者や社会のニーズに対応した診療体制の発展

訪問診療医師の拡充	R4年度末：5人 <4人>
オンライン診療（発熱以外）	タブレットオンライン診療：0件 <0件>
発熱外来医師の拡充	R5年4月～：3人（発熱外来2、ことばの外来1）
眼科手術の拡大	手術数：218件 <168件>

④ 検診、ワクチン接種など、保健サービスの供給

人間ドック、健康診断	受診者数：2,146人 <2,456人>
行政委託検診	受診者数：2,051人 <1,700人>

(2) 救急への対応

時間外、1.5次救急に対応するための診療体制の見直し

時間外診療の受入	受入件数：681件 <236件>
救急車の受入	受入件数（応需率）：522件（64%） <429件（64%）>

(3) 安全な透析診療

医師の雇用	常勤医師：6月雇用～1月退職、後任医師募集中
医療事故防止対策	医療安全管理委員会による巡視、透析科会議へ病院幹部が参加

(4) リハビリテーション科業務強化

外来、入院、訪問、みまき温泉診療所他の医療機関・施設との連携、地域活動への参加

外来、入院 延患者数	外来：5,624人 <5,018人>、入院：6,224人 <8,762人>
訪問 延患者数	訪問：608人 <242人>
市の介護予防事業に協力	ずく出し教室他：26回
職員研修	他施設での研修：2名、院内研修会：2回

### 3、地域包括ケアシステム

在宅療養支援病院として、訪問診療、緊急時の患者受け入れ、レスパイト入院などのサービス提供体制を安定して運営する。

(1) 在宅支援サービスの提供

在宅サービス（訪問診療、訪問リハビリ、在宅療養者の入院、看取り等）の提供態勢の維持

項目	R4年度実績 <R3年度実績>
訪問 延患者数	訪問診療：病院170人<154人>、診療所949人<900人>訪問リハ：608人<242人>
その他患者延数	レスパイト入院：4人<3人>、診療所在宅看取り：41人<46人>

(2) 地域医療部

① 上記（1）を充実するための、多職種連携および情報発信の強化

市民啓発	学習会講師：10回
多職種連携会議	市多職種連携会議：4回

② 地域の医療機関との診療等の紹介、逆紹介など、病診・病病連携の充実、強化

紹介：逆紹介	紹介949件：逆紹介1,831件
連携室による開業医訪問	訪問：117施設（東御市、上田市、小諸市、佐久市、川西）、MRI紹介：53施設

③ 温泉診療所とのシステムおよび各種運用の統一と安定化

電子カルテシステムの統一	R4 年 12 月から統一システム運用
医師の支援体制	診療所の業務増加に伴い、病院医師が診療支援

(3) 高齢者福祉拠点との連携準備

福祉拠点施設整備への協力	R4 年度は活動なし <高齢者センター検討会議に院長が参加>
--------------	--------------------------------

#### 4、教育、人材育成

(1) 職員の育成

① 医療従事者として必要な知識と、高い倫理観を習得するための研修の計画的な実施

項 目	R4 年度実績 <R3 年度実績>
一般職員研修	個人情報保護、メンタルヘルス、接遇、医療安全

② 役付き職員のマネジメント能力（問題解決、目標管理）向上研修の実施

管理職研修	マネジメント研修：5回、キャリアラダーの作成
-------	------------------------

③ 適正、公平な人事評価の実施と、適材適所の人員配置で潜在能力の向上

医師人事評価制度の実施	院長・病院事業管理者による面談を、年2回（5月、11月）実施
-------------	--------------------------------

(2) 市民教育

様々な媒体を活用して、超高齢社会や健康課題に対応する情報発信・啓発活動

広報資料の発行	ひまわり2回、市報とうみ：1回
放送動画の作成	ラジオ、テレビ：7番組
出前講座	病院：6回、診療所：13回、助産所：7回

(3) 次世代人材との交流

次世代を担う研修医、奨学生、医学生、看護学生などの研修の受け入れ、交流の実施

医師の研修	研修医：4人
学生等の研修、実習の受入	医学生：9人、看護：20人、助産師：11人、リハ：3人、栄養：1人
学生等の講義	看護学生：20回

## 令和4年度東御市病院事業 決算（速報値）

### 1、病院事業全体

○市単独補助金を繰入れることなく、73,630千円の黒字決算となりました。

(単位：千円)

収支項目	令和4年度	令和3年度	比較 (R4-R3)	R4決算の説明
<b>事業収益</b> ①=㉗+㉘	<b>2,151,387</b>	2,008,574	142,813	
<b>医業収益</b> ㉗	1,620,788	1,570,290	50,498	
(1) 入院収益	509,429	534,932	▲ 25,503	・コロナ病床確保による入院の減少
(2) 外来収益	860,207	761,839	98,368	
(3) 他会計負担金	37,991	37,991	0	
(4) その他収益	213,161	235,528	▲ 22,367	・人間ドックの減少 ▲1000万円
<b>医業外収益</b> ㉘	530,599	438,284	92,315	
(1) 他会計補助金	1,717	0	1,717	・基準外繰入 ⇒ 0円 <計画目標値1.45億円以下>
(2) 他会計負担金	162,378	168,603	▲ 6,225	・基準内繰入 247,409千円
(3) 長期前受金戻入	11,918	4,372	7,546	
(4) 資本費繰入収益	47,040	45,512	1,528	
(5) その他収益	12,584	11,838	746	
(6) 補助金	294,962	207,959	87,003	・コロナ病床補助金 292,875千円
<b>事業費用</b> ②=㉙+㉚	<b>2,077,757</b>	1,930,553	147,204	
<b>医業費用</b> ㉙	1,956,011	1,848,328	107,683	
(1) 給与費	1,035,200	1,032,091	3,109	
(2) 材料費	254,016	229,642	24,374	・診療材料高騰による増 1700万円
(3) 経費	482,185	423,565	58,620	・電気料高騰による増 1800万円
(4) 減価償却費	152,515	144,684	7,831	・コロナ対応の医療機器購入による増
(5) 資産減耗費	28,452	16,815	11,637	・更新による不要機器の廃棄の増
(6) 研究研修費	3,643	1,531	2,112	
<b>医業外費用</b> ㉚	121,746	82,225	39,521	・設備改修等に係る消費税の増
<b>事業損益</b> ①-②=㉛	<b>73,630</b>	78,021	▲ 4,391	

### 2、事業別収支

○病院3事業それぞれの決算状況は、下表のとおりです。

(単位：千円)

市民病院	収支項目	令和4年度	令和3年度	比較 (R4-R3)
	① 事業収益	1,956,186	1,830,777	125,409
② 事業費用	1,875,636	1,752,096	123,540	
	<b>経常損益 ①-②</b>	<b>80,550</b>	78,681	1,869

温泉診療所	収支項目	令和4年度	令和3年度	比較 (R4-R3)
	① 事業収益	154,215	138,483	15,732
② 事業費用	130,683	103,139	27,544	
	<b>経常損益 ①-②</b>	<b>23,532</b>	35,344	▲ 11,812

助産所	収支項目	令和4年度	令和3年度	比較 (R4-R3)
	① 事業収益	40,985	39,315	1,670
② 事業費用	71,437	75,319	▲ 3,882	
	<b>経常損益 ①-②</b>	<b>▲ 30,452</b>	▲ 36,004	5,552

# 令和5年度東御市民病院重点事業

## 1、プライマリケア

出産・誕生から最期の時を迎えるまでの健康上の問題や患者の疾病に対して、プライマリケアの視点で、全人的に対応する医療、福祉、保健サービスの提供体制を構築維持する。

### (1) 診療体制

- ① オンライン診療、訪問診療など、患者や社会のニーズに対応した診療の検討
- ② 新型コロナウイルス感染症の5類への変更に伴う診療体制の再構築と、院内感染防止対策の徹底
- ③ 時間外、1.5次救急に対応するための、診療体制の見直し

### (2) 各種業務の点検、最適化

- ① 医療安全（事故防止、機器安全管理、院内感染防止）管理の徹底と、職員への徹底
- ② 病棟、外来、リハビリ室等の運営にあたり、関係する部署の業務連携の強化
- ③ 透析室業務のプロセスの点検と、再構築
- ④ 令和6年度の「働き方改革」施行に向けた、各職種単位での点検と業務体制の再構築

### (3) 関係機関との連携

- ① 当院かかりつけ患者のフォロー体制など、病診連携の在り方の検討
- ② 行政、企業から要望のあるサービス（人間ドック、検診、ワクチン接種等）の安定供給
- ③ 市が新たに整備する高齢者福祉拠点の、開設、運営への協力

## 2、地域包括ケアシステム

在宅療養支援病院として、訪問診療、緊急時の患者受け入れ、レスパイト入院などのサービス提供体制を安定して運営する。

### (1) 在宅支援サービスの提供

- ① 在宅サービス（訪問診療、訪問リハビリ、在宅療養者の入院、看取り等）の提供態勢の強化
- ② 在宅療養者への医療提供をスムーズにする、診療システムの検討

### (2) 地域医療部

- ① 地域の医療機関との紹介、逆紹介など、病診・病病連携の充実、強化
- ② 行政、その他職種と連携した、東御市版地域包括ケアシステムの見える化の推進

## 3、教育、人材育成

### (1) 職員教育

- ① 職員資質（知識、倫理）向上と、役職者能力（目標管理、問題解決）向上のための研修会の実施
- ② 適正、公平な人事評価の実施
- ③ 当院が必要とする、看護職、技術職の専門資格の取得支援

### (2) 市民啓発、広報

- ① FMとうみ、上田CATVを活用した、健康番組の定例放送
- ② 病院ホームページのリアルタイム化と広報ひまわりの定期発行による情報発信

### (3) 次世代人材との交流

次世代を担う研修医、奨学生、医学生、看護学生などの研修の受け入れ、交流の実施

## 令和5年度東御市病院事業 予算

(単位:千円)

収支項目	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)	R5予算の説明
<b>事業収益</b> ①=㉞+㉟	<b>2,133,876</b>	1,944,054	189,822	
<b>医業収益</b> ㉞	1,747,051	1,795,383	▲ 48,332	・患者数等《別表1》
(1) 入院収益	642,000	581,760	60,240	
(2) 外来収益	853,000	975,290	▲ 122,290	
(3) 他会計負担金	37,991	37,991	0	
(4) その他収益	214,060	200,342	13,718	
<b>医業外収益</b> ㉟	386,825	148,671	238,154	・基準外繰入 ⇒ 0円 <計画値1.3億円以下>
(1) 他会計補助金	0	0	0	
(2) 他会計負担金	76,009	76,009	0	
(3) 長期前受金戻入	11,669	11,916	▲ 247	
(4) 資本費繰入収益	36,000	36,000	0	
(5) その他収益	13,147	21,546	▲ 8,399	
(6) 補助金	250,000	3,200	246,800	・コロナ病床補助金 2.5億円
<b>事業費用</b> ②=㉟+㊱	<b>2,133,876</b>	1,944,054	189,822	
<b>医業費用</b> ㉟	2,100,937	1,911,115	189,822	・給与費《別表2》 物価上昇分 6000万円
(1) 給与費	1,079,232	1,062,192	17,040	
(2) 材料費	297,611	246,611	51,000	
(3) 経費	538,488	442,745	95,743	
(4) 減価償却費	179,922	153,883	26,039	
(5) 資産減耗費	200	200	0	
(6) 研究研修費	5,484	5,484	0	
<b>医業外費用</b> ㊱	32,939	32,939	0	・機器購入、施設整備《別表3》
<b>事業損益</b> ①-②=㊲	<b>0</b>	0	0	

別表1「業務量の実績・計画」

(単位:人、%)

		令和3年度	令和4年度 (R4/R3)	令和5年度 計画
病院	入院延数	15,932	13,594 (85.3)	17,000
	病床稼働率	72.8	62.1	80.0
	外来延数	58,426	63,623 (108.9)	58,400
	透析延数	7,777	7,763 (99.8)	8,000
診療所	外来延数	11,296	10,787 (95.5)	10,700
	訪問診療患者数	75	79 (105.3)	83
助産所	分娩者数	55	61 (110.9)	60
	ショートステイ	229	263 (114.8)	240

別表2「職員数」

(単位:人)

	令和4年度末		令和5年6月現在	
	正職	会任職員	正職	会任職員
医師	7	1	8	2
看護職(病院、診療所、助産所)	46 (40、1、5)	44 (41、1、2)	46 (40、1、5)	44 (40、1、3)
技術職	21	8	22	6
事務職	5	13	4	13
計	79	66	80	65

別表3:「主な建設改良事業」「企業債」

(単位:千円)

	令和4年度 実績		令和5年度 計画	
施設整備工事等	205,590	空調設備更新工事・工事監理	270,245	空調設備更新工事・工事監理
医療機器等整備	201,265	MRI装置 血液分析装置 眼科レーザー治療装置	123,214	X線撮影システム 電話設備及びナースコールシステム

# 公立病院経営強化プランの策定スケジュール

## 1、策定の必要性

国は、公立病院の役割・機能を明確にし経営の効率化を図るため、令和9年度までを期間とする「公立病院経営強化プラン」を、令和5年度中に策定するよう求めています。

### 「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」の概要

#### 第1 公立病院経営強化の必要性

- 公立病院は、これまで再編・ネットワーク化、経営形態の見直しなどに取り組んできたが、**医師・看護師等の不足**、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、依然として、**持続可能な経営を確保しきれない病院も多い**のが実態。
- また、コロナ対応に公立病院が中核的な役割を果たし、**感染症拡大時の対応における公立病院の果たす役割**の重要性が改めて認識されるとともに、病院間の役割分担の明確化・最適化や医師・看護師等の確保などの取組を平時から進めておく必要性が浮き彫りとなった。
- 今後、**医師の時間外労働規制への対応**も迫られるなど、さらに厳しい状況が見込まれる。
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、**限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し**、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、**公立病院の経営を強化していくことが重要**。

#### 第2 地方公共団体における公立病院経営強化プランの策定

- 策定期間 令和4年度又は令和5年度中に策定
- プランの期間 策定年度又はその次年度～令和9年度を標準
- プランの内容 **持続可能な地域医療提供体制を確保**するため、地域の実情を踏まえつつ、必要な**経営強化の取組**を記載

#### 公立病院経営強化プランの内容

##### (1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・ **機能分化・連携強化**

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。

##### (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ **医師・看護師等の確保**（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）
- ・ 医師の**働き方改革**への対応

##### (3) 経営形態の見直し

##### (4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

##### (5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・ デジタル化への対応

##### (6) 経営の効率化等

- ・ 経営指標に係る数値目標

#### 第3 都道府県の役割・責任の強化

- 都道府県が、市町村のプラン策定や公立病院の施設の新設・建替等にあたり、地域医療構想との整合性等について積極的に助言。
- 医療資源が比較的充実した**都道府県立病院等が、中小規模の公立病院等との連携・支援を強化**していくことが重要。

#### 第4 経営強化プランの策定・点検・評価・公表

- 病院事業担当部局だけでなく、企画・財政担当部局や医療政策担当部局など関係部局が連携して策定。関係者と丁寧に意見交換するとともに、策定段階から議会、住民に適切に説明。
- 概ね年1回以上点検・評価を行い、その結果を公表するとともに、必要に応じ、プランを改定。

#### 第5 財政措置

- **機能分化・連携強化**に伴う施設整備等に係る病院事業債（特別付）や**医師派遣**に係る特別交付税措置を**拡充**。

## 2、計画の位置づけ

当院においては現在、東御市病院事業第3次経営改善計画（令和3～6年度）の推進中であり、国が求める公立病院経営強化プラン（令和6年度～）とは計画期間が重複することになります。

については、第3次計画を点検したうえで、国の計画策定ガイドラインに沿った公立病院経営強化プランを今年度末までに策定し、第4次経営改善計画として推進することとします。

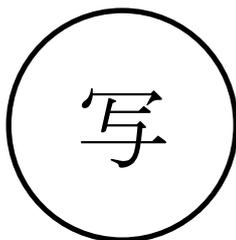
## 3、計画策定の手順

- ア、ニーズの把握…患者満足度調査、関係者・機関ヒアリングの結果を計画に反映させます。
- イ、目標値の設定…病棟・外来運営会議において、目標値の検討、各科の調整を図ります。
- ウ、計画の協議…職場代表者会議において、計画内容の適正を協議します。

## 4、策定スケジュール

- 6月～11月 データの分析、目標値、具体的な取組みの検討
- R6年1月 改定計画（原案）の作成、パブリックコメントの実施
- ～3月 計画（案）を病院等運営協議会に諮問・答申
- 3月末 「公立病院経営強化プラン」公表

5病第 号  
令和5年6月19日



東御市病院等運営協議会  
会 長 様

東御市長 花岡利夫

東御市病院事業第3次経営改善計画の進捗評価について（諮問）

東御市病院等運営協議会条例第1条の規定に基づき、次のとおり諮問します。

東御市病院事業第3次経営改善計画の令和4年度における進捗状況及び評価にあたり、貴協議会の意見を求めます。

（諮問理由）

市では、令和3年度から令和6年度までを計画期間とする「東御市病院事業第3次経営改善計画」に基づき病院経営の効率化、さらに新型コロナウイルス感染症への対応など、病院事業の改革に取り組んでおります。

本計画の策定時における貴協議会からの答申におきまして、「目標値に対する進捗管理を行い、PDCAサイクルを実行することで、本計画に基づく施策を着実に推進するとともに、進捗・効果検証の結果を広く市民へ分かりやすく公表していくこと。」との付帯意見をいただいておりますので、第3次経営改善計画の令和4年度における進捗状況及び評価について、貴協議会の意見を求めるものです。

＜令和4年度分＞  
第3次経営改善計画の進捗状況及び評価

1、計画の進捗

(1) 病院3事業の状況

① 市民病院

ア 目標、役割

一般急性期から回復期の患者へ医療を提供するとともに、在宅医療を推進し地域包括ケアシステムを支えます。

イ 地域貢献

- ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、上田保健所と連携し、病床を確保するなどその治療にあたりました。
- ・地域医療連携の観点から、地域のクリニックとの連携強化に取り組んでいます。
- ・救急車による搬送や時間外診療の要望に応えられるよう、救急受入体制の強化を図っています。

②みまき温泉診療所

ア 目標、役割

地域における総合診療を行うとともに、本市の地域包括ケアシステムの拠点として、在宅医療を提供します。

イ 地域貢献

- ・患者が希望する自宅療養に応えられるよう、訪問診療を実施し、更に訪問看護、訪問リハビリ等のサービス事業所と連携し、在宅生活を支援しています。

③ 助産所とうみ

ア 目標、役割

少子化・コロナ禍による産み控えがある中で、出産から育児まで、あたたかい心で寄り添う助産を提供します。

イ 地域貢献

- ・行政との連携により、妊産婦のメンタルケア、産後ショートステイ、育児サポートに取り組んでいます。

(2) 目標数値の状況

① 市民病院

ア 外来に関する特殊事情：発熱患者の診療について、前年度の3倍にあたる3,000人をオンライン診療で実施しました。外来全体の患者数は63,600人で、前年度より5,000人増加しましたが、目標値に対しては95%でした。

イ 入院に関する特殊事情：入院ベッドの年間延数21,900床（60床×365日）のうち、4,125床をコロナ専用病床として確保していました。このため、患者数は13,600人で、前年度より2,300人減少し、目標達成度は78%でした。

ウ 救急車：受入件数は522件で、前年度より90件増加し、目標達成度は113%でした。

エ ドック、健診：実施数は4,200件で、前年度より微増しましたが、目標値に対しては80%でした。

	内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和6年度 最終目標	
				目標値	実績	達成度		
患者数	人	外来延患者数 (うちオンライン診療)	54,939 (671)	58,426 (1,062)	67,100 -	<b>63,623</b> (3,060)	94.8% -	69,000 -
		外来一日平均	226.1	242.0	277.3	<b>261.8</b>	94.4%	285.1
		入院延患者数 (うちコロナ病床)	14,561 (60)	15,940 (467)	17,520 -	<b>13,594</b> (649)	77.6% -	17,520 -
		入院一日平均	39.9	43.7	48.0	<b>37.2</b>	77.5%	48.0
病床利用率	%	病床利用率	66.5	72.8	80.0	<b>62.1</b>	77.6%	80.0
救 急	件	救急車受入件数	326	429	460	<b>522</b>	113.5%	530
	%	救急車受入率	62.0	64.0	65.0	<b>64.0</b>	98.5%	75.0
ドック・健診	件	件 数	4,830	4,156	5,300	<b>4,197</b>	79.2%	5,600
参考：コロナ検査	件	-	332	2,473	-	<b>7,572</b>	-	-

② みまき温泉診療所

ア 外来：患者数は10,800人で、前年度より微減となり、目標達成度は99.9%でした。  
 イ 訪問診療：実患者数は950人で、前年度より50人増加し、目標達成度は119%でした。

項目	内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和6年度 最終目標	
				目標値	実績	達成度		
患者数	人	外来延患者数	10,506	11,296	10,800	10,787	99.9%	11,200
		外来一日平均	39.3	42.4	40.0	40.5	101.3%	41.5
		訪問実患者数	650	900	800	949	118.6%	1,000
参考：コロナ検査	件	-	200	57	-	631	-	-

③ 助産所とうみ

ア 分娩：分娩数は61件で、前年度より6件増加していますが、目標値に対しては94%でした。  
 イ ショートステイ：受入れ日数は263日で、昨年度より34日増加していますが、目標値に対しては88%でした。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和6年度 最終目標
			目標値	実績	達成度	
分娩件数 (件)	60	55	65	61	93.8%	60
産後ショートステイ (延日)	249	229	300	263	87.7%	700

(3) 経営収支

ア 収入：コロナ専用病床確保による入院の収入減額を補うための補助金が2億9,000万円交付されました。  
 イ 支出：診療材料、電気、他物品の物価上昇により3,500万円程度支出が増加しています。また、施設の老朽化等により、空調の改修、大型機器の更新により多額の資本的支出、消費税支出がありました。  
 ウ 経営収支：市単独の経営補助金（基準外繰入）を繰り入れることなく、黒字を確保しました。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和6年度 最終目標
			目標値	実績	達成度	
一般会計からの基準外繰入の額	1億6000万円	0円	1億4500万円 以下	基準外繰入 0円	達成	1億円以下

2、評価

(1) 自己評価

① 病院3事業の取組に関して

令和4年度においては、新型コロナ感染拡大の第7波、第8波において多くの患者の受け入れが求められる中で、上田保健所、圏域内の医療機関と連携し、公立病院としての役割を果たしました。  
 病院と診療所の電子カルテ、患者IDの統一、スタッフの相互交流等により連携を密にすることで、訪問診療患者の増加、療養者の安心に繋がっています。

② 目標値の達成度について

新型コロナへの診療対応が優先される中で、第3次経営改善計画に設定した目標値が、現在の状況に適応しなくなっている項目が見受けられるようになりました。  
 このような状況において、設定した目標値を達成できなかった項目もありますが、多くの項目において前年度から実績値（成果）の上積みが見られています。

③ 経営収支

令和4年度の目標は、経営赤字が発生した場合に市から補助される基準外繰入額を1億4,500万円以下に抑えることでしたが、経営収支は7,363万円の黒字となり目標を達成しました。  
 これにより、2年連続の目標達成となりました。

(2) 委員による評価

① 意見

--

② 評価判定

令和4年度評価	
---------	--

※評価の標語

- A : 順調
- B : 概ね順調
- C : やや遅れている
- D : 遅れている

令和5年6月19日

東御市長 花岡利夫様

東御市病院等運営協議会  
会長 武藤 芳照

東御市病院事業 第3次経営改善計画の進捗評価について（答申）

令和5年6月19日付け5病第7号により、当協議会に諮問のありました「東御市病院事業第3次経営改善計画の進捗評価」について、慎重に審議をした結果、下記のとおり答申します。

なお、下記のとおり附帯意見を付します。

#### 記

諮問された進捗評価については、「A」が妥当である。

#### 附帯意見

- 1 感染症対応力の向上と予防啓発の一層の充実強化を図られたい。
- 2 病院・診療所・助産所の相互の協力及び関係医療機関等との連携の拡充を進められたい。
- 3 地域リハビリテーション及び母子健康推進の活動の充実を図られたい。